

令和8年6月 第155回 内子町議会定例会
一般質問通告一覧表

議席番号 議員氏名	質問事項	質問の要旨	質問の 相手
7番 森永 和夫	1. 不登校児童生徒に 対する対応	(1)不登校児童生徒が増加傾向にある状況を、教育委員会としてどう分析されているのか、また、これまでの具体的な対応について、成果も併せて、伺う。	教育長
		(2)内子町では校内教育支援センターは設置しているのか。	
		(3)内子町の教育支援センター(ふれあいルーム)は、これまでの学校復帰を前提としたものなのか、また、COCOROプランに沿って、不登校児童生徒のすべての「多様な学びの場」として位置づけているのか、また、「内子町幼稚園の園舎を教育支援センター(ふれあいルーム)として整備し、更なる教育機会の充実を図る」と言われていますが、具体的にどうされるのか、伺う。	町長 教育長
		(4)「学びの多様化学校」について、教育長の見解を伺う。	教育長
	2. メンタルヘルス対策について	(1)メンタルヘルスの不調による休職者の現状について、どう分析されているのか、また、今後の対策は。	町長
		(2)厚労省の指針や総務省の通知が求めている「心の健康づくり計画」は策定されているのか、また、管理職に対するラインケア研修などは実施しているのか、伺う。	
		(3)内子町では、このレジリエンスの観点での研修、支援体制は行われているのか伺う	

1 番 酒井 勝也	1. 財政調整金、各種基金のインフレ下の対応策	(1) 本町における財政調整基金および各種積立基金の現在の総額と、その運用内訳を伺う。また、現在の運用方針、および預金先や運用手法を選択する際の判断基準を伺う。	町 長
		(2) 普通預金中心の管理を継続することに、どのような理由があるのか。金利上昇局面において、短期国債等を活用した運用への見直しを検討しているか。	
		(3) 支払準備金を除いた一定割合を短期国債や SDGs 債等で運用する方針への転換、時代に即した『基金運用基本方針 (ガイドライン)』の策定・見直しによる運用の透明化、および専門的知見を持つ金融機関等との連携強化について、金融情勢の変化に的確に対応するための今後の具体的な取り組み方針を伺う。	
	2. 公共施設 (内子浄化センター) への再エネ導入による経費削減と防災強化	(1) 内子町浄化センター等の維持管理費において、エネルギー価格高騰が経営に与えている影響を伺う。	町 長
		(2) 内子町浄化センターに再エネ設備導入を検討すべきと考えるが、今後の方針を伺う。	
2 番 松田 修	1. 防犯カメラについて	(1) 内子町の設置している防犯カメラは何台か。	町 長
		(2) 防犯カメラについての認識は。	
		(3) 町内に防犯カメラの設置希望があれば対応できるのか。	
		(4) 個人の設置に対しての補助はあるのか。	
	2. 一次産業対策について	町の一次産業である農林業について、補助金や財政支援ありきの対応では現状打破は厳しいと考える。	町 長

<p>2番 松田 修</p>	<p>2. 一次産業対策について</p>	<p>(1) 林業について 先般、5月17日に開催された「第76回全国植樹祭えひめ2026」では、森林整備や木材利用への理解を深めることを目的としており、「森林を守り育てる取り組み」が、大会宣言として発表された。 現在、内子町が進めている林業施策は、この植樹祭で謳われた趣旨にどのように合致し、また具体化されているのか、町の考えを伺う。</p> <p>(2) 農業の持続可能な農業体制の構築について まず、本町の活性化に寄与している地域おこし協力隊について、現状を伺う。 現在の隊員数と定住率、そのうち農業に従事する隊員の割合は。また、隊員1名あたりの一年間の活動費の総額はいくらか。</p> <p>(3) 現在の内子町の農業従事者は、現在進行形で高齢化している。社会の背景に定年後の再雇用制度も起因しているのかとも考えられる。 農林業としてのバックボーンがありながら農業に従事しない町民や農業に関心のある町民に対し60～65歳(再雇用年齢)を対象に「地域おこし協力隊」のような形で経済的な支援を行い、農業従事者の増加を図ってはどうか。 新たな手段で農業の生産力の維持向上を図る考えはないか伺う。</p> <p>(4) 応援体制について、農業は繁忙期があり人手不足が生産の足かせになっている。繁忙期の対応ができれば生産量を増やすことを考える生産者は少なくないと思う。 高齢化が進む本町の農業を支え、持続可能なものとするためには、「繁忙期の応援</p>	<p>町 長</p>
--------------------	----------------------	---	------------

<p>2番 松田 修</p>	<p>2. 一次産業対策について</p>	<p>体制」を整備することが必要と考える。繁忙期にしっかりサポートする体制を整え、安心して農業に取り組める環境をつくるべきと考えるが、町の所見を伺う。</p>	<p>町 長</p>
<p>6番 久保 美博</p>	<p>1. ワクチン接種で防げる病気について</p>	<p>(1) 带状疱疹ワクチンの接種費用の助成については、町独自にいち早く取り組んでいただき町民の方から喜びの声を多く聞きます。国も本年4月より带状疱疹ワクチンが定期接種化されました。そこで、当町で昨年度に带状疱疹ワクチンの接種者の人数は何人が伺います。</p> <p>(2) RSウイルス感染症は、RSウイルスの感染によって引き起こされる呼吸器感染症で、一般的には乳幼児の呼吸器感染症の原因ウイルスとして知られています。その一方で、高齢者や喘息、心疾患、糖尿病、慢性腎臓病などの慢性の基礎疾患がある人や、免疫機能が低下している人が感染した場合、肺炎などを起こし死亡率が高く注意が必要と指摘されています。そこで、色々な予防医療として肺炎球菌感染症、高齢者インフルエンザ、新型コロナウイルス、带状疱疹とともにRSウイルス感染症についても町民へ周知と感染予防への注意喚起を行ってはどうかと思いますが見解を伺います。</p> <p>(3) 妊婦、高齢者向けのRSウイルスワクチン接種に伴うメリット・デメリットと注意点を伺います。</p> <p>(4) RSウイルスワクチンは、妊婦が接種することで胎児に免疫を移行させ、出生後の乳幼児の重症肺炎などを防ぐ「母子免疫ワクチン」と、60歳以上の高齢者を対象とした重症化予防ワクチンの2種類が、承認・実用化されています。60歳以上の成人を対象にRSウイルスによる下気道</p>	<p>町 長</p>

<p>6番 久保 美博</p>	<p>1. ワクチン接種で防 げる病気について</p>	<p>疾患(肺炎など)の発症と重症化を防ぎま す。費用も高額となり「ワクチンで防げる 病気」における「生涯を通じた予防接種」 を通じて町民の健康寿命の延伸に繋がる と思います。帯状疱疹ワクチン接種同様、 町独自に助成する考えはないか伺います。</p>	<p>町 長</p>
	<p>2. 町内小中学校にお ける防犯カメラ設置 について</p>	<p>(1)今年3月22日付の愛媛新聞記事に 県内20市町で小中学校への防犯カメラ 設置の状況があり10市町で設置済みで、 校門、裏門、中庭といった人が出入りする 場所で校舎内はなかったとありました。子 どもや保護者に設置を知らせていない自 治体も5市町あったとあり、どの小中にも ないのは4市町(久万高原、内子、八幡浜、 愛南)とあり、これから先、町としてどう 取り組んでいく考えか伺います。</p> <p>(2)設置する場合、学校関係者や保護者、 住民が何のために設置するのか認識を共 有することが大切と思うが、関係者との周 知についてどのように考えているか伺い ます。</p> <p>(3)防犯カメラは、何か起きたときに 後から確認ができることと予防という2 つの機能があると思います。設置した場合 に「防犯カメラ稼働中、設置」といった表 示しアピールすることも必要と思うが、考 えはどうか伺います。</p>	<p>教育長</p>
<p>4番 城戸 司</p>	<p>1. 町立幼稚園、小・中 学校等の再編計画に ついて</p>	<p>内子町教育改革懇談会の答申を受け策 定された「内子町立幼稚園、小・中学校等 の再編計画」について伺う</p> <p>(1)これまで、人口減少や部活動の地域 移行などの観点から学校の統廃合につい て、一般質問を行ってきた。 これまでの一般質問に対する執行部の 答弁内容が本計画にどのように反映され、 具体化されているのか。</p>	<p>教育長</p>

4番 城戸 司	1. 町立幼稚園、小・中学校等の再編計画について	その整合性と進捗状況について確認させていただく。	教育長
		(2) 統廃合後の施設の活用について伺う。	町長 教育長
	2. 物価高騰対策について	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し町民や事業所の支援をしている。	町長
		(1) 食料品価格やガソリン価格の上昇に対し、賃金が追い付いておらず町民生活は厳しい状況であるが、「内子町みんなの暮らし応援券」の増額、または2回目の発行の検討を伺う。	
(2) 事業所の支援もしているが、発表後に急激な物価高となっている。増額や追加はないのか伺う。			
	(3) ふるさと納税が増えると更なる支援ができるのではないか、町の考えを伺う。		
12番 下野 安彦	1. 棚田の保全について	(1) 「手入れの行き届いた美しい姿は、多くの人を魅了しています。しかしこの棚田が後継者不在という課題を抱えているのをご存じですか。そしてこの課題を解決するために地域の人たちが頑張っていることを10年・20年先の棚田はどんな姿になっていくのか、多くの人に考えてほしいと思い、棚田の「今」をお伝えします」と、2015年の広報内子10月号で「日本の棚田百選」に選ばれている、御祓泉谷の棚田の特集号が出されています。特集号が出てから10年が経過しました。また、1999年に棚田100選に選ばれて27年が経過しましたが、現在の棚田の現状や保全はどの様になっているのか。棚田オーナー制度や農作業体験ツアー、棚田米の販売など、どの様な取り組みがされているか質問します。	町長
	(2) 県の公式ラインから「愛媛のたなだん」フォトコンテスト2026の開催案内が届		

<p>12番 下野 安彦</p>	<p>1. 棚田の保全について</p>	<p>きました。県や町の観光資源にもなっていると思うのですが、泉谷の棚田を今後どのように守っていくか、県や町として何が出来るか、どのような支援をしていくか、どう関わっていくつもりかお尋ねします。</p>	<p>町 長</p>
	<p>2. 町民や子どもを守る防犯カメラ設置について</p>	<p>(1)「内子町役場における業務の公正かつ適正な執行を確保し、犯罪の予防、犯罪発生時の検証及び職員への不当な圧力を排除することを目的として設置した防犯カメラ装置及びこれにより記録された記録データの取扱いについて必要な事項を定めるものとする。」として、令和6年、内子町防犯カメラ装置の設置及び運用に関する要綱により、本庁や分庁、小田支所へ防犯カメラが設置されました。何が起きるかわからない時代、防犯カメラやドライブレコーダーにより早期に事件解決に繋がっている様です。町民の生命や財産、特に子どもたちの安心安全の為に、保育園や学校教育現場、子ども達が多く利用する公共施設への防犯カメラ設置の考えはないかお尋ねします。</p>	<p>町 長 教育長</p>
	<p>3. 笑顔の街づくりに ついて</p>	<p>(1)すべての公務員は全体の奉仕者であり、また、公務は“最大のサービス業”と言われるように、住民に対し必要な行政サービスを提供することが、自治体職員の仕事だと言われています。笑顔のまちづくりにむけ、笑顔での挨拶や笑顔での窓口対応への指導、接遇マニュアルはどうされているか。登下校時の元気な子どもたちの挨拶はほっこりしますが、挨拶運動や指導はどのようにされているのか質問します。</p>	<p>町 長 教育長</p>

<p>11番 山本 徹</p>	<p>1. 里山の暮らしを守る飲用水や生活用水について</p>	<p>里山の暮らしの中で飲用水や生活水で苦勞されている切実な声を見聞きする。人口減少や高齢化が進む中、すべての町民が安全な水を安定して確保できる環境を維持することは重要なことである。内子町における里山や山間部地域などの水利用の現状を確認し、今後の支援策について伺う。</p> <p>(1) 小川、わき水を利用している世帯数や水質検査の状況について</p> <p>個人や数世帯で小川やわき水を生活水として利用している世帯数は。また飲用水として利用する場合の水質検査の状況について伺う。</p> <p>(2) 飲用水として利用できる施設・設備について</p> <p>個人や数世帯が利用できる飲用水施設や設備にはどのようなものがあるのか。また、費用はどれくらいか伺う</p> <p>(3) 自分で水を運べない高齢者への対応について</p> <p>渴水時など、自力で水を運ぶことができない高齢世帯に対し、生活水の確保について支援体制はあるのか。</p> <p>(4) 上水道設置のための個人負担について</p> <p>上水道以外から上水道へ接続する場合の受益者負担金の金額はどれくらいになるのか。また、その場合の町の支援策について伺う。</p>	<p>町 長</p>
---------------------	---------------------------------	--	------------